

農山漁村地域整備計画 事後評価

1 整備計画名 :大阪府農空間整備計画 2期

2 整備計画年度 :平成27年度～平成31年度(5年間)

3 事後評価年 :令和3年(令和2年度に繰越完了の地区有)

4 計画目標

大阪府内の農業・農空間は、府民の身近にあって、食料生産はもとより、環境、防災、教育・福祉、いきがい、健康づくりなど様々な公益的役割を果たしている。

大阪府では、都市農業及び農空間を積極的に守り育て、その公益的機能の維持増進を図るため、「大阪府都市農業の推進及び農空間の保全と活用に関する条例」に基づき、多様な都市農業の担い手を育成し、農空間を保全・活用するとともに、農産物の安全性を確保し、府民の健康的で快適な暮らしの実現及び安全で活気と魅力に満ちたまちづくりを推進している。

本計画では、条例の趣旨に則り、都市農業の振興や農空間の有する公益的機能が十分発揮されるよう、ほ場や農道の整備による生産基盤の機能向上とともに、ため池・水路の整備による地域の安全、安心の確保、快適な水辺環境の創出を通じて、農業者と府民が一体となった府民協働により農空間の保全・活用を図ることを目標とする。

5 定量的指標

(基幹水利施設整備型)

①農業水利施設の機能保全対策により、3地区で農地面積約359haへの用水の安定供給の確保及び1地区で約60haの湛水被害を防除するとともに、施設の長寿命化を進めます。

(地域用水環境整備事業)

②農業用水路の整備により、3地区で農地面積約109haへの用水の安定供給や排水機能の確保と併せ、魅力ある水辺環境を創出します。

(農村集落基盤再編・整備事業(集落基盤再編型))

③ほ場整備などにより、3地区で約47haの農業生産基盤の機能向上を図り、都市農業の持続的な発展をめざします。

(農業基盤整備促進事業(定率))

④ほ場整備などにより、8地区で約211haの農業生産基盤の機能向上を図り、都市農業の持続的な発展をめざします。

(農道整備事業(基幹農道整備事業))

⑤農道等の整備により、1地区で約63haの農業振興地域内農地における物流の効率化や地域間交流を促進します。

(農村集落基盤再編・整備事業(実施計画策定型))

⑥土地改良事業の事業計画を策定するための調査を3地区で実施します。

6 事業効果の発現状況並びに成果目標値の実現状況

◆農業水利施設の機能保全対策による施設の長寿命化

(目標値)

①農業水利施設の機能保全対策により、3地区で農地面積約359haへの用水の安定供給の確保及び1地区で約60haの湛水被害を防除するとともに、施設の長寿命化を進めます。

(実績値)

農業水利施設の機能保全対策により、2地区で農地面積約191haへの用水の安定供給の確保及び1地区で約60haの湛水被害を防除するとともに、施設の長寿命化を推進した。

未達成の地区については、3期計画に継続することで完了予定。

(実現状況)

60%

(事業実施地区一覧)

区分	事業名	地区名	工期		総事業費 (千円)	目標値	実績値	備考
			開始	終了		受益(ha)	受益(ha)	
対象	農山漁村・水利施設	泉佐野2期	27	27	6,947	191	191	I期からの継続
対象	農山漁村・水利施設	泉佐野3期	27	27	10,000	—	—	—
対象	農山漁村・水利施設	泉佐野3期	28	29	28,446	—	—	—
対象	農山漁村・水利施設	滝畑ダム3期	27	28	29,079	—	—	I期からの継続
対象	農山漁村・水利施設	五領揚水機場	27	27	106,961	—	—	I期からの継続
対象	農山漁村・水利施設	五領揚水機場2期	30	31	181,000	168	0	Ⅲ期へ継続
					小計	359	191	用水
対象	農山漁村・水利施設	大冠排水機場2期	27	29	236,844	59.6	59.6	I期からの継続
					小計	59.6	59.6	排水
				合計	599,277	418.6	250.6	
						実現状況	60%	

◆農業用水路整備による用水安定供給並びに水辺環境創設

(目標値)

②農業用水路の整備により、3地区で農地面積約109haへの用水の安定供給や排水機能の確保と併せ、魅力ある水辺環境を創出します。

(実績値)

農業用水路の整備により、1地区で農地面積約52.6haへの用水の安定供給や排水機能の確保と併せ、魅力ある水辺環境を創出した。

未達成の地区については、3期計画に継続することで完了予定。

(実現状況)

48%

(事業実施地区一覧)

区分	事業名	地区名	工期		総事業費 (千円)	目標値	実績値	備考
			開始	終了		受益(ha)	受益(ha)	
対象	農山漁村・地域用水	東部排水路	27	31	582,810	22.2	0	Ⅲ期へ継続
対象	農山漁村・地域用水	高瀬川水路	27	31	210,604	52.6	52.6	
対象	農山漁村・地域用水	拾六個水路	29	31	405,060	35.0	0	Ⅲ期へ継続
				計	1,198,474	109.8	52.6	
						実現状況	48%	

◆ほ場整備による農業生産基盤の機能向上(農村集落基盤再編・整備事業(集落基盤再編型))
(目標値)

③ほ場整備などにより、3地区で約47haの農業生産基盤の機能向上を図り、都市農業の持続的な発展をめざします。

(実績値)

ほ場整備などにより、2地区で約25.8haの農業生産基盤の機能向上を図り、都市農業の持続的な発展に寄与した。未達成の地区については、3期計画に継続することで完了予定。

(実現状況)

55%

(事業実施地区一覧)

区分	事業名	地区名	工期		総事業費 (千円)	目標値	実績値	備考
			開始	終了		受益(ha)	受益(ha)	
対象	農山漁村・集落基盤	河内長野・和泉	27	29	30,301	20.1	20.1	I期からの継続
対象	農山漁村・効果促進	河内長野・和泉	27	29	31,287	—	—	I期からの継続
対象	農山漁村・集落基盤	岸和田丘陵	27	31	543,785	21.1	0	Ⅲ期へ継続
対象	農山漁村・基盤整備促進	野々地蔵	27	29	87,545	5.7	5.7	I期からの継続
				計	692,918	46.9	25.8	
						実現状況	55%	

◆ほ場整備による農業生産基盤の機能向上(農業基盤整備促進事業(定率))

(目標値)

④ほ場整備などにより、8地区で約211haの農業生産基盤の機能向上を図り、都市農業の持続的な発展をめざします。

(実績値)

ほ場整備などにより、6地区で約130.7haの農業生産基盤の機能向上を図り、都市農業の持続的な発展に寄与した。

未達成の地区については、3期計画に継続することで完了予定。

(実現状況)

62%

(事業実施地区一覧)

区分	事業名	地区名	工期		総事業費 (千円)	目標値	実績値	備考
			開始	終了		受益(ha)	受益(ha)	
対象	農山漁村・集落基盤	茨木北部丘陵	29	31	110,189	40.0	0	Ⅲ期へ継続
対象	農山漁村・基盤整備促進	陶器北	27	29	28,147	26.5	26.5	I期からの継続
対象	農山漁村・基盤整備促進	三ツ松上代	27	28	9,666	7.7	7.7	
対象	農山漁村・基盤整備促進	木積	27	28	16,599	28.1	28.1	
対象	農山漁村・基盤整備促進	山田堂の下	28	29	27,172	1.4	1.4	
対象	農山漁村・基盤整備促進	流木今池	28	30	14,468	58.2	58.2	
対象	農山漁村・基盤整備促進	河南西部	29	31	24,000	40.7	0	Ⅲ期へ継続
対象	農山漁村・基盤整備促進	南中安松	30	31	48,735	8.8	8.8	
				計	278,976	211.4	130.7	
						実現状況	62%	

◆農道等の整備による物流の安定化、地域間交流促進

(目標値)

⑤農道等の整備により、1地区で約63haの農業振興地域内農地における物流の効率化や地域間交流を促進します。

(実績値)

農道等の整備を進めており、交付期間内で整備を完了させることができなかったが、3期計画に継続することで完了予定。

(実現状況)

0%

(事業実施地区一覧)

区分	事業名	地区名	工期		総事業費 (千円)	目標値	実績値	備考
			開始	終了		受益(ha)	受益(ha)	
関連	農山漁村・農道整備	泉南	27	31	288,069	62.9	0	Ⅲ期へ継続
				計	288,069	62.9	0.0	
						達成率	0%	

◆土地改良事業の事業計画策定

(目標値)

⑥土地改良事業の事業計画を策定するための調査を3地区で実施します。

(実績値)

土地改良事業の事業計画を策定するための調査を3地区で実施した。

(実現状況)

100%

(事業実施地区一覧)

区分	事業名	地区名	工期		総事業費 (千円)	目標値	実績値	備考
			開始	終了		地区	地区	
対象	農山漁村・土地総	南中安松	28	28	3,400	1	1	
対象	農山漁村・土地総	畑	31	31	10,000	1	1	
対象	農山漁村・土地総	駒ヶ谷	30	30	9,000	1	1	
				計	22,400	3.0	3.0	
						達成率	100%	

7今後の方針

※整備計画年度を令和2年度～令和6年度(5年間)とする新たな計画(3期)を樹立し、計画(Ⅱ期)目標達成が出来なかった地区については、引続き3期計画により目標達成し、早期の効果発現を目指す。